

市長公約の取組状況（令和6年3月末現在）

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
1 新型コロナウイルス感染症対策			
	1 ワクチン接種を確実に速やかにできるよう万全を期します。	○令和4年度から引き続き、希望するすべての対象者の方への初回接種および追加接種を実施し、令和6年3月に完了しました。	保健所
	2 無利子融資の拡充、プレミアム商品券の発行により、市内の卸・商店等を支援します。	○令和3年度および4年度に本市独自のプレミアム付商品券（合計約34億円分）を発行したほか、令和5年度は、県の「経営安定資金（危機対策枠および危機対策特別枠）」の融資（当初3年間は実質無利子）を受けた事業者に対し、借入れから4年目以降の利子補給（全額補助）を開始しました。	産業振興部 観光文化スポーツ部
	3 子どもへの支援金を支給します。	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、令和3年度に本市独自事業として実施した子ども応援給付金について、申請に基づき、令和4年度に新生児264人分を支給しました。	子ども未来部
	4 採用支援金の交付、資格取得への助成など、感染症の影響により解雇・離職された方を支援します。	○「新型コロナウイルス感染症対策離職者採用支援事業補助金」や「新型コロナウイルス感染症対策離職者資格取得助成事業補助金」の積極的なPRを通じた利用促進に努め、再就職の促進を図り、令和4年度に事業を完了しました。	産業振興部
2 未来が見えるまちづくりの促進			
	5 中心市街地の魅力を高める民間のプロジェクトをさらに支援します。	○年間を通したにぎわいの創出のため、関係団体等が実施するイベント等を支援しました。 ○民間事業者が実施する優良建築物等整備事業に対し、「中心市街地優良建築物等整備事業費補助金」により支援しました。	観光文化スポーツ部 都市整備部
	6 「コレアキ」「ホコ天」開催により、さらなる賑わいを創ります。	○4年ぶりの中心市街地での開催となる「これが秋田だ！食と芸能大祭典2023」の開催費用の一部を支援しました。 ○秋田商工会議所等で構成する「広小路バザール実行委員会」に対し、広小路バザールの開催費用の一部を補助しました。	観光文化スポーツ部 産業振興部
	7 あきた芸術劇場と市文化創造館で質の高い文化を発信します。	○あきた芸術劇場については、指定管理者であるあきた芸術劇場AAS共同事業体が管理運営を行ったほか、1周年を記念したクラシックコンサートなどを開催しました。 ○文化創造館については、指定管理者であるNPO法人アーツセンターあきたが管理運営を行い、文化創造のまちの実現に向けて、市民の多様な活動を支援しました。また、令和6年度以降の指定管理者を選定しました。	観光文化スポーツ部 企画財政部
	8 まちなか観光案内所を中心としたまち歩き観光を充実します。	○本市を訪れた観光客等に対する観光案内の充実を図るとともに、本市の歴史や文化を生かした中心市街地のまちあるき観光を促進しました。	観光文化スポーツ部
	9 佐竹史料館の整備を中心とした千秋公園の再整備を促進します。	○佐竹史料館の建て替えについて、埋蔵文化財発掘調査や支障電柱の移設などを行ったほか、建設工事に着手しました（令和7年10月開館予定）。 ○大手門の堀遊歩道整備を行ったほか、鐘楼更新整備、さくら景観整備および内堀等水質浄化整備を行いました。	観光文化スポーツ部 建設部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
	10 スーパーシティによる若者にとって魅力あるまちづくりを実現します。	○市議会やまちづくり懇話会、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、外旭川地区まちづくり基本計画を策定しました。	企画財政部 デジタル化推進本部 その他関連部局
	11 A I や I C T を活用し、環境、防災のまちづくりを実現します。	○市議会やまちづくり懇話会、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、外旭川地区まちづくり基本計画を策定しました。	企画財政部 総務部 デジタル化推進本部 環境部
	12 現代の流通・ニーズに対応した卸売市場の再整備を進めます。	○卸売市場再整備に精通したコンサルタントに業務を委託し、「秋田市卸売市場再整備基本計画」の策定に向け、市場施設の規模や機能等について具体的な検討を行いました。	産業振興部
	13 県や民間との共同による新スタジアムの整備を推進します。	○県・市・ブラウブリッツ秋田の3者間での協議を踏まえ、ブラウブリッツ秋田が作成した新スタジアム整備計画の内容を取り込んだ外旭川地区まちづくり基本計画を策定しました。	企画財政部 観光文化スポーツ部
	14 泉外旭川駅開業により、公共交通網を充実させます。	○将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現に向けた公共交通網の再編を進めるため、ビッグデータ等の分析結果を踏まえたバス路線網再編案を作成しました。 ○日常生活に必要な移動手段を確保するため、タクシー車両を活用した面的交通である「秋田市エリア交通」について、大住・仁井田・御野場地区において通年運行を開始したほか、手形・旭川・添川・濁川地区、御所野地区および勝平地区において実証運行を行いました。	都市整備部
	15 都市計画道路泉外旭川線、大浜上新城線の整備を促進します。	○泉外旭川線については、鉄道敷地を横断する区間の工事を進めました。 ○大浜上新城線については、事業実施主体である県に対し、早期完成に向けた要望活動を行いました。	建設部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
3 デジタル化の推進			
16	押印の廃止とデジタル化を強力に進め、市役所に行かなくても全ての手続きができる「デジタル市役所」を実現します。	○取扱件数が1,000件以上の行政手続について、令和5年度末までに119件をオンライン化しました。 ○民間企業との共同事業による出前講座「はじめてのスマートフォン教室」を開催しました。 ○市民への動画による情報発信のため、簡易な手法で動画作成が可能となるシステムを導入しました。 ○秋田市公式LINEで、子育てに関する情報に加えて、除排雪に関する情報の配信を開始しました。 ○福祉医療業務について、定型入力業務にRPA・AI-OCRを導入することで、業務の効率化を図りました。	デジタル化推進本部 総務部 企画財政部
17	市民を待たせない総合窓口支援システムを導入します。	○総合窓口支援システムの運用により、受付時間や住民登録の処理時間の短縮を図りました。	市民生活部
4 さらなる産業の振興と雇用の創出			
18	仁井田浄水場整備は地元優先して発注し、建設業の振興と雇用を守ります。	○市内企業を参加要件とした取水・導水施設整備工事、脱水汚泥保管棟建設工事およびストックヤード整備工事について、市内企業と契約を締結しました。	上下水道局
19	テレワーク、ワーケーションなどによりさらなる企業誘致を促進します。	○トップセールスなどにより、誘致企業の本社・親会社への働きかけや成長が見込まれるICT関連等の新規開拓を県とともに進め、本市独自の優遇制度や立地環境の優位性等のPRに努め、企業誘致活動を積極的に展開しました。 ○地方進出ニーズ調査等において、「本市への新規立地の可能性がある」と回答した企業に対し、オンライン等によるテレワーク従事者の移住促進事業や、県のリモート拠点整備等の支援制度を活用しながら、県と連携した誘致活動を行いました。 ○新規立地企業オフィス確保支援事業により、民間事業者のレンタルオフィス等の入居費を支援するなど、IT関連企業等の立地促進を図りました。	産業振興部
20	正社員化や雇用拡大により若者の地元定着を促進します。	○アンダー40正社員化促進事業について、制度の積極的なPRを通じたさらなる利用促進に努め、安定した雇用の拡大を図りました。 ○若者の就職促進と地元定着を図るため、フレッシュマンの集いや若手社員向けコミュニケーション研修を開催しました。また、新卒者地元就職促進事業による企業研究会や高校教諭等を対象とした職場見学会の開催、市内企業の採用情報等を掲載した就活ガイドブック作成のほか、中小企業採用・人材育成支援事業により、企業の採用活動やインターンシップおよび人材育成等を支援しました。 ○本市創業支援事業計画に基づき、秋田商工会議所をはじめとする創業支援事業者と連携・情報共有し、起業の支援と雇用の創出を行ったほか、創業支援補助金制度や融資あっせんによる資金支援を行いました。	産業振興部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
	21 農業の複合経営をさらにおし進め、圃場整備とスマート農業を推進します。	○下新城笠岡西部地区など19地区のほ場整備等を実施した「県営土地改良施設等整備事業」について、費用の一部を負担しました。 ○スマート技術等を活用した農作業の省力化、低コスト化に必要な機械等の導入を支援しました。 ○園芸振興センターにおいて、A I や I C T を活用した自動かん水施肥システムの実証展示を行ったほか、いちごのJ G A P 認証を継続して取得しました。 ○農業法人等に対し園芸用ハウスや園芸用機械の導入を支援しました。 ○新規就農研修、冬期農業研修等の担い手育成に係る支援を実施しました。 ○J A が行う農産物の安全性検査に必要な経費を支援しました。	産業振興部
	22 河辺地域における県産ウイスキー蒸留所、酒工房整備を支援します。	○都市農村交流のさらなる促進やウイスキー・日本酒の製造に関連した民間事業者の動きがある河辺岩見三内地区におけるエリア別整備等の検討を行うため、有識者等で構成する「都市農村交流促進会議」を3回開催し、整備方針等に対する意見をいただきました。	産業振興部 市民生活部（河辺S C） その他関連部局
	23 雄和地域における農業、芸術、教育機関などの地域資源を連携させた地域の活性化を促進します。	○交流・関係人口の増加と地域活性化に向けた地域資源（農業、芸術、教育分野等）の利活用に関する調査を実施しました。また、雄和地域活性化検討会メンバーによるワークショップを開催し、地域活性化につながる取組やアイデアを検討しました。 ○地元工芸作家作品および農産品の販売等イベントを開催しました。	市民生活部（雄和S C） 産業振興部 観光文化スポーツ部
5 子どもを生み育てやすい環境づくり			
	24 子ども医療費と放課後児童クラブへの助成を拡充します。	○子ども福祉医療制度において、令和5年8月から高校生年代まで対象を拡大し、所得制限を緩和する制度拡充を実施しました。 ○国の補助基準額の改定に合わせて放課後児童クラブへの助成を拡充しました。	子ども未来部
	25 妊婦へのインフルエンザ予防接種費用を助成するとともに、不妊治療支援を大幅に拡充します。	○特定不妊治療について、令和4年度に引き続き、保険適用後の治療費の自己負担分について助成を行いました。また、新たな制度として、令和5年4月1日以降に治療を開始した先進医療費等の自己負担分について助成を行いました。	保健所 子ども未来部
	26 第一子からの保育料無償化を継続します。	○第1子保育料無償化事業を継続実施しました。 ※令和5年度は1,171人に対し、263,781千円の保育料を助成しました。	子ども未来部
	27 広面児童館の改築や四ツ小屋、寺内児童センターの大規模改修など、放課後の児童の安全な居場所づくりを計画的に進めます。	○高清水児童センターの屋根および外壁改修を実施しました。	子ども未来部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
6 高齢者などが活躍できる全ての人にやさしいまちの実現			
28	エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）の取り組みをさらに推進します。	○エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会および庁内推進会議に諮りながら、第3次行動計画の推進に努めました。 ○市民や民間事業者と連携を図りながら、エイジフレンドリーシティの日（8月24日）プロモーション事業を核として、記念講演会、記念講座、記念イベント、パートナースタンプラリー、エイジいきいきポイント等のプロモーション事業や、ワークショップ、パートナー研修会を実施し、エイジフレンドリーシティの認知度向上を図りました。 ○総務省デジタル活用支援推進事業を活用し高齢者を対象としたスマホ教室を開催したほか、民間企業との共同事業によるスマホ相談窓口の開設や出前講座の開催により、情報通信技術を活用する能力格差の是正を図りました。	福祉保健部 デジタル化推進本部 その他関連部局
29	介護予防事業の拡充と地域包括支援センターの体制強化、見守り活動を充実します。	○介護予防事業の拡充については、生活支援コーディネーターや協議体による、住民を対象としたワークショップを開催したほか、要支援者等が参加する通いの場を通年で募集し、要件を満たす団体に補助を行いました。 ○医療専門職の職能団体の参画により、介護予防に効果的な体操等のプログラムを作成し、その指導を行う介護や医療の専門職を派遣しました。 ○地域包括支援センターの体制強化については、ケアプランの作成および評価時にリハビリ専門職と連携した同行訪問や助言等の支援を実施し、専門職の意見を取り入れる機会を増やすことにより、ケアマネジメント力を高めました。 ○介護予防ケアプランについての詳細なデータ分析を専門機関に依頼し、本人の状況等に応じたケアプラン作成について研修会を行うなど、スキルアップを図りました。 ○見守り活動の充実については、新たな事業者と見守り協定を締結し、これまでの締結事業者とともに見守り活動を行うことにより、日常生活における活動の強化を図りました。 ○認知症地域支援推進員を中心に認知症サポーター養成講座や認知症関連研修を実施したほか、遊学舎等市内7か所でパネル展示を行い周知を図りました。さら更に警察および地域包括支援センターとの協力による認知症高齢者の事前登録についても、登録者の増加に努めるとともに、情報共有を行いました。また認知症等高齢者への声かけ模擬訓練を実施するなど、関係機関との連携による地域の見守り体制づくりを進めました。	福祉保健部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
	30 障がい者の雇用拡大と芸術・文化・スポーツ活動を積極的に支援します。	○障がい児者スポーツ活動応援事業については、パラスポーツ指導員養成講習会の受講者に対し、受講料を補助したほか、パラスポーツフェスタを開催し、市民がパラスポーツに触れる機会を提供しました。また、デフリンピック男子サッカー日本代表候補合宿を本市で開催し、合宿期間中は市民と代表選手によるサッカーを通じた交流会を開催しました。 ○市内の中・高等学校および特別支援学校の文化活動を対象とする助成を行いました。 ○障がい者雇用拡大支援事業補助金については、合同企業説明会や障がい者向け就活イベント等で市内企業に周知を行うとともに、法定雇用率達成や障がい者雇用の必要性について説明を行いました。 ○就労移行支援等の事業所の開設について関連法人に働きかけ、就労移行支援事業所（1事業所）が新たに開設されました。 ○障がい者アート活動の支援については、旧松倉家住宅において2月10日から18日まで（一般公開は17日まで）作品展を開催しました。また、情報発信のためのウェブサイトの更新を行いました。 ○障がい児者を対象に全8回の水泳教室を開催しました。	福祉保健部 産業振興部 観光文化スポーツ部
	31 L G B T Q（性的マイノリティ）のパートナーシップ制度を導入します。	○「アライキャンペーン」として仲小路振興会と連携し、にじいろ（多様性）に関するPRイベント等を実施しました。 ○仲小路振興会のハロウィンイベントに参画するとともに、L G B T Qの理解促進に関するアンケート調査を実施した。また、親子で性の多様性について学ぶ機会としてワークショップを実施し、意識啓発に取り組みました。	市民生活部
7 芸術文化・スポーツ・観光によるまちづくり			
	32 芸術・文化・歴史などの地域資源を活かした住民参加による「文化創造プロジェクト」を推進します。	○フォローアップ事業である「P A R Kーいきるとつくるのにわ」を通して、県内外の多彩なクリエイターや地域で活動する研究者、実践者、秋田で暮らす人々が交わり、ともに学び、共創するプロジェクトを展開しました。 ○今後のプロジェクト推進に向け、外部有識者と意見交換等を行う文化創造プロジェクト推進会議を2回開催しました。	企画財政部
	33 地元トップスポーツクラブを支援するとともに、さらなる応援機運の醸成を図ります。	○トップスポーツクラブ3チーム（秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンブレッツ）が行う本市PR事業に係る経費の一部を補助しました。 ○秋田駅前や会場周辺に大型バナーやのぼりを掲出し、トップスポーツクラブのホームゲームのPRなどを行いました。 ○バドミントンS/Jリーグ2023秋田大会、卓球Tリーグ2023秋田大会、日本陸上競技選手権大会混成競技の開催経費の一部を補助しました。	観光文化スポーツ部
	34 クルーズ船誘致等によりインバウンド誘客を促進します。	○クルーズ船寄港による本市への観光誘客を図るために誘致活動を行ったほか、クルーズ船の寄港時には歓迎セレモニーなどを実施しました。	観光文化スポーツ部
	35 秋田城跡等の整備により、歴史を活かした都市の魅力を向上させます。	○秋田城跡の保存活用等に係る方針の策定に向け、史跡の現況地図や、当該方針の構成案および素案の一部を作成しました。 ○旧松倉家住宅については、指定管理者である株式会社秋田東北ダイケンが管理運営を行い、旧松倉家住宅の保存、活用および歴史・文化を生かした事業の企画、運営を行いました。	観光文化スポーツ部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
8 地球温暖化対策の推進			
36	秋田沖洋上風力の実現により、環境産業を創出します。	○洋上風力発電関連企業の誘致については、公募で選定され、本県沖で事業化を予定している企業のほか、水素や蓄電池関連などの幅広い分野の企業を訪問し、本市のPRを行うなど、誘致に向けた取組を実施しました。 ○データセンターの誘致については、データセンターを有する事業者を訪問し、令和4年度に実施したデータセンター事業実施可能性調査を基に意見交換や情報収集等を行いました。また、データセンター事業者を本市の視察ツアーへ招聘するなど、誘致に向けて積極的に働きかけました。 ○産学官の委員で構成される「秋田市再生可能エネルギー推進検討委員会」等の意見を踏まえ、「新エネルギー産業の集積地づくりとクリーンエネルギーの地産地活の実現」を基本理念とする「秋田市新エネルギービジョン」を策定しました。	産業振興部
37	水素エネルギー活用など再生可能エネルギー拡大と民間企業の省エネ設備導入に対する支援等によりゼロカーボンを推進します。	○向浜地区脱炭素先行地域づくり事業については、プロポーザルで選定した事業候補者と契約に向けた協議を実施しました。 ○中小企業等省エネ促進事業については、補助対象者に学校法人を追加し、市内事業者の省エネ設備導入に対する補助を継続的に実施しました。 ○再生可能エネルギー導入支援事業については、市民向けの住宅用太陽光発電システムおよび住宅用木質ペレットストーブの導入に対する補助を実施しました。 ○次世代エネルギーパーク運営経費については、市内の再生可能エネルギー発電施設の見学を通して、再生可能エネルギー設備導入への理解促進と環境意識の醸成を図りました。 ○産学官の委員で構成される「秋田市再生可能エネルギー推進検討委員会」等の意見を踏まえ、「新エネルギー産業の集積地づくりとクリーンエネルギーの地産地活の実現」を基本理念とする「秋田市新エネルギービジョン」を策定しました。	環境部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
9 安全・安心なまちづくり			
38	バスとタクシーを組み合わせた持続可能で快適な公共交通を実現します。	○将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現に向けた公共交通網の再編を進めるため、ビッグデータ等の分析結果を踏まえたバス路線網再編案を作成しました。 ○日常生活に必要な移動手段を確保するため、タクシー車両を活用した面的交通である「秋田市エリア交通」について、大住・仁井田・御野場地区において通年運行を開始したほか、手形・旭川・添川・濁川地区、御所野地区および勝平地区において実証運行を行いました。 ○中心市街地循環バスぐるるおよび秋田市マイタウン・バス（予約制を除く）にGPS端末を設置し、リアルタイムの位置情報をオープンデータとして公開しました。 ○公共交通の利用が不便な地域の高齢者や、運転免許証を持たない人のため、タクシー事業者およびスーパーマーケット等と連携し、高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保することを目的とした「買物タクシー」の本格運行を新藤田地区および檜山地区（太田町・石塚町・大元町）において実施しました。	都市整備部
39	交通系ICカードを導入し、公共交通の利便性を向上します。	○交通系ICカード「AkiCA」の運用に関し、秋田中央交通(株)へ運用経費の一部を補助しました。また、マイタウン・バスでの運用に係る経費を負担しました。	都市整備部
40	古川の治水対策を促進するとともに、秋田地区河川防災ステーション（仮称）を整備します。	○古川排水機場について、本体整備工事および機電設備整備工事に着手しました。 ○（仮称）秋田市水防センターに係る基本計画の策定および建設予定地の地質調査を行いました。 ○古川雨水排水ポンプ場について、導水路整備工事、本体（土木・建築）工事および機械設備工事に着手しました。	建設部 総務部 上下水道局
41	都市計画道路川尻広面線（横町工区）の整備を促進します。	○都市計画道路川尻広面線の整備に向け、建物等調査業務委託を実施しました。	建設部
42	市立秋田総合病院を改築し、より安全・安心で良質な医療を提供します。	○法人の新病院建設工事の施工に当たり、設立団体として必要な支援を行いました。	福祉保健部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
10 市民協働と教育の充実			
43	「秋田市のブランド化（シティプロモーション）」を推進し、交流人口・関係人口の増加を促進します。	○過去１年間に本市を訪れたことがある首都圏在住者に、民放テレビ番組が視聴できるアプリ「T v e r」の動画広告配信を行いました。 ○20～30代の首都圏等在住者をターゲットに本市のイメージ向上を図るシティプロモーション動画を制作し、「T v e r」や市公式Y o u T u b eチャンネル、首都圏移住相談窓口等で発信しました。 ○観光客や帰省者等の利用が多く見込まれる秋田空港とＪＲ秋田駅に、宝島社「住みたい田舎ベストランキング」１位という全国的な評価をＰＲする広告を掲示しました。 ○シティプロモーションモデル事業では、市内３か所（中心市街地および農山村地域（雄和地域新波自治会、河辺地域式田町内会））のモデル地区において、地域の魅力を発信するイベントやツアーを実施しました。	企画財政部
44	「まちへの市民の誇り（シビックプライド）」を醸成します。	○秋田駅や市内の高校、商業施設などにおいて、本市の公式Instagramに投稿された自然、風景等の地域資源を写した作品を展示する「Instagram写真展」を開催しました。なお開催にあたり、まちへの誇りと愛着醸成パートナー企業等からの協賛を募りました。 ○石井露月顕彰全国俳句大会兼秋田市短詩型大会の全入賞作品のうち、本市の地域資源の魅力を詠んだ俳句を「まちへの誇りと愛着醸成賞」（最優秀賞１点、優秀賞２点）として表彰しました。 ○まちへの誇りと愛着醸成パートナー企業を対象に、本市の取組に対する理解促進と連携に係る意見やアイデアの聴取を目的とした説明会を開催し、22社が参加しました。	企画財政部
45	泉地区コミセンの大規模改修、上北手地区コミセンの改築など、地域の自治活動や防災の拠点となるコミュニティセンターの計画的な整備を進めます。	○上北手地区コミュニティセンター改築工事、既存建物解体工事を完了しました。	市民生活部
46	小・中・高等学校について、全普通教室へエアコンを設置するとともに、１人１台のタブレット配付を行います。	○令和３年度に高等学校等へ一人一台のタブレット型パソコンを導入したほか、令和４年度までに、小中高等学校の全普通教室にエアコンの設置を完了しました。	教育委員会
47	老朽化した日新小学校を地域景観に調和した木造により改築します。	○校舎・屋内運動場棟等の増改築工事について、令和６年度の校舎等完成に向け、新校舎の工事に着手しました。	教育委員会